

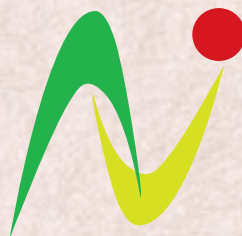
なかがわ

広報

2017. 4



町のイメージキャラクター
「なかちゃん」



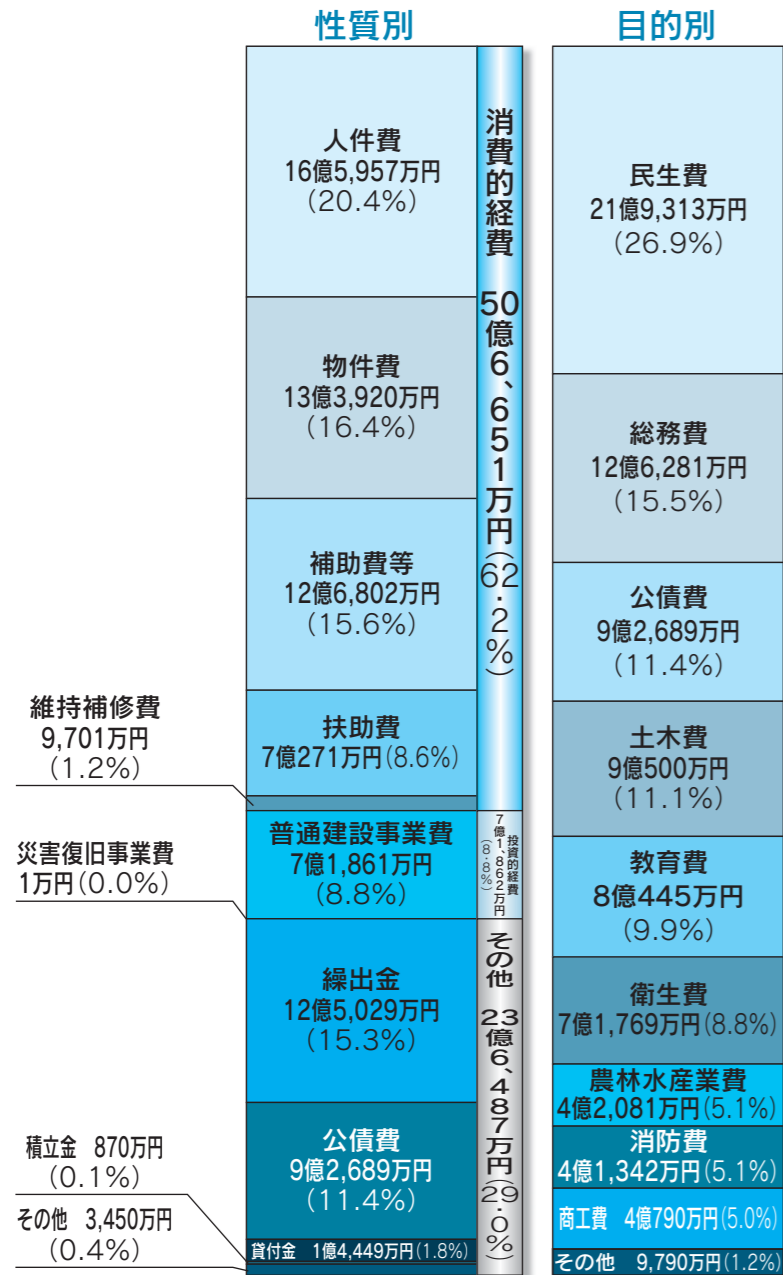
No.139

- 平成29年度那珂川町予算 2
- 馬頭西小学校が馬頭小学校に統合します 5
- ホースヘッズ村海外体験学習報告 6
- 平成29年度職員配置一覧 10
- 卒業おめでとう 13
- 保育園4園・幼稚園2園が閉園 14

楽しかった思い出とともに
小川幼稚園閉園式



歳出 81億5,000万円



投資的経費は8.8%に

歳出については、町の厳しい財政状況を踏まえ、事業の平準化に努めるとともに、前例や既成概念にとらわれず、必要性、緊急性、費用対効果を検証し、町民の安心・安全な生活基盤を構築するための予算といたしました。

目的別の主な事業について、民生費では、認定こども園維持管理運営費、障害者福祉サービス事業費や児童手当支給事業費のほか、後期高齢者医療費や介護保険特別会計繰出金などです。

総務費では、デマンド交通、馬頭烏山線運行経費や、ケーブルテレビ事業特別会計繰出金のほか、まちづくり等に要する経費です。

公債費は、合併特例債や過疎対策事業債のほか、臨時財政対策債等の町債の元金及び利子の支払に要する経費です。

土木費は、道路新設改良費、町道維持補修費のほか、町営住宅等管理費や公共下水道事業繰出金などです。

このほか、教育費、衛生費、農林水産業費、消防費、商工費などとなっています。

歳出の性質別内訳は、建設事業費などの投資的経費と人件費や物件費などの消費的経費、公債費などのその他の経費の3つに分けることができます。投資的経費は、7億1,862万円で、構成比は8.8%、消費的経費は、50億6,651万円で、構成比は62.2%となりました。また、その他の経費は、23億6,487万円で、構成比は29.0%となっています。

自主財源は全体予算の37.3%に

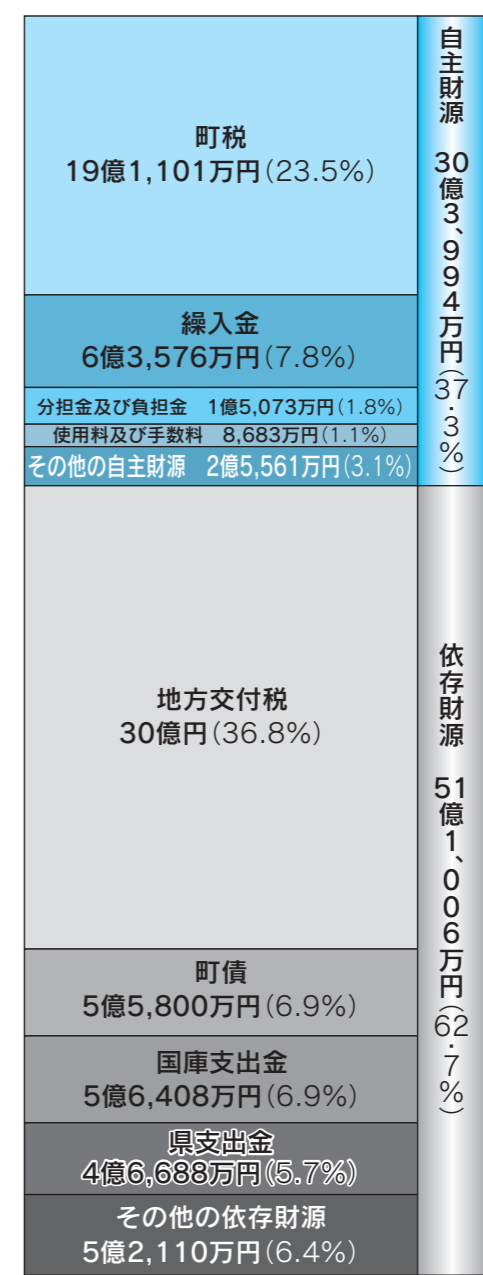
歳入の構成については、大きく分けて自主財源(町税や使用料、手数料など町独自でまかなえるもの)と依存財源(地方交付税、国・県支出金、町の借金である町債等)の2つに分けられます。

自主財源については、町税のうち、法人税、固定資産税等は増額となりますが、個人町民税、町たばこ税等が減額となるほか、庁舎建設工事や、認定こども園の整備が完了したことにより、財政調整基金繰入金や、福祉基金繰入金等が減額となったため、自主財源は30億3,994万円で構成比は37.3%となっています。自主財源の中心となる町税は19億1,101万円で歳入全体の23.5%となっています。

依存財源では、地方消費税交付金が減額となるほか、町債についても、大型事業の完了に伴い大幅な減額になり、依存財源は51億1,006万円で、構成比は62.7%となりました。依存財源の核となる地方の財源保障のための地方交付税は、30億円で歳入全体の36.8%を占めており、町債のうち財源補てんのための臨時財政対策債は3億円計上いたしました。



歳入 81億5,000万円



予算

平成29年度は、「第2次那珂川町総合振興計画」で定めた町の将来像である「人・もの・自然が融和し、みんなで手を取り合い、元気を生み出すまち」の実現のため、各施策によるまちづくりを推進するとともに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で定めた地方創生に向けた予算を計上しました。

平成29年度一般会計予算は、81億5,000万円となり、前年度予算に対し、18億3,000万円減(18.3%減)の予算となりました。この減額の主な要因は、庁舎建設工事や、認定こども園の整備が完了したことによるものです。

町民1人当たりの目的別の予算額は(平成29年3月1日現在人口17,136人)

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	合計
5,421	73,693	127,984	41,882	24,557	23,803	475,607
土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	予備費	
52,813	24,126	46,945	1	54,090	292	

一般会計・特別会計・企業会計予算額(前年との比較)

会計区分	項目	平成29年度	平成28年度	比較増減	対前年度比率
一	一般会計	8,150,000	9,980,000	△1,830,000	△18.3
特別会計	ケーブルテレビ事業	475,000	478,000	△3,000	△0.6
	国民健康保険	2,540,000	2,520,000	20,000	0.8
	後期高齢者医療	191,000	201,000	△10,000	△5.0
	介護保険	1,830,000	1,894,000	△64,000	△3.4
	下水道事業	304,000	316,000	△12,000	△3.8
	農業集落排水事業	48,000	49,000	△1,000	△2.0
企業会計	簡易水道事業	0	238,000	△238,000	皆減
	計	5,388,000	5,696,000	△308,000	△5.4
企業会計	上水道(支出計)	310,630	313,631	△3,001	△1.0
	簡易水道(支出計)	403,830	156,639	247,191	157.8
	計	714,460	470,270	244,190	51.9
	総計	14,252,460	16,146,270	△1,893,810	△11.7

平成29年度予算の主要施策 (一般会計予算)

元気で明るく暮らせるまちをつくる

○母子保健事業	35,041千円
○障害者福祉サービス費	319,942千円
○児童手当支給事業	201,460千円
○こども医療費助成事業	35,800千円
○南那須地区広域行政事務組合病院費負担金	85,530千円

活力をおこすまちをつくる

○畜産振興事業	17,775千円
○中部中山間地域総合整備事業	62,240千円
○とちぎの元気な森づくり事業	33,485千円
○商工業振興事業	17,999千円
○観光振興事業	69,786千円



まちづくりの3大重点プロジェクト

- 「雇用の創出」推進プロジェクト
 - ・企業立地促進、雇用推進奨励金事業 90,000千円
- 「結婚・出産・子育て」推進プロジェクト
 - ・認定こども園管理運営(3園) 186,508千円
 - ・結婚促進事業 850千円
 - ・産前、産後支援事業 2,241千円
- 「新しい人の流れ創出」推進プロジェクト
 - ・子育て支援住宅整備事業 6,000千円
 - ・地域おこし協力隊事業 27,020千円
 - ・プレミアム商品券発行事業 20,000千円



快適に暮らせるまちをつくる

○町道改良舗装事業	154,000千円
○地方道路交付金事業	212,000千円
○デマンド交通運行事業	19,500千円
○常備消防、非常備消防管理運営	377,354千円
○空き家改修等支援事業	500千円

人を育むまちをつくる

○馬頭高等学校通学費等の助成	11,000千円
○小学校の管理運営	133,452千円
○中学校の管理運営	62,681千円
○文化振興事業	17,616千円
○国際交流事業	5,213千円



人と自然が共生するまちをつくる

○ごみ収集事業	232,459千円
○し尿処理対策事業	81,374千円
○生ごみ堆肥化事業	16,225千円
○低炭素まちづくり推進設備等導入事業	7,000千円

ともに考え行動するまちをつくる

○なかがわ元気プロジェクト事業	5,500千円
○木質資源出荷促進地域活性化事業	1,000千円



平成30年4月 馬頭西小学校が馬頭小学校に統合します

馬頭西小学校は、少子化の影響により、年々児童数が減少し、平成24年度から複式学級が発生しています。このことから、学校規模の適正化を考慮し、平成26年度に統合方針を定めてから、保護者の皆さまや、地域の皆さまに小学校の現状や今後の在り方等を説明し、ご理解とご協力をお願いしてまいりました。

皆さまからは、統合の賛否を含めて様々なご意見ご要望をいただきました。当初は平成28年4月を目標に、統合を推進することで説明会等を開催してきました。しかし、改めて平成28年度において、平成30年4月に統合すること、で説明会を開催してまいりました。また、統合時期に関しての要望書が提出されましたが、概ね統合についてご理解をいただけたものと考えております。

このたび、馬頭西小学校を平成30年3月末で閉校し馬頭小学校に統合、平成30年4月1日からスタートするため、3月開催の議会定例会において、関係条例の改正を議決いただきました。

今後、統合に向けて準備委員会を設置して、スムーズな統合ができるよう進めてまいります。保護者の皆さまには統合年次あるいは、統合そのものについて、様々なお考えがあったかとは思いますが、ぜひ子どもたちの教育を第一に考えて、ご協力いただけますようお願いするとともに、地域の皆さまにおいても、更なるご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

馬頭西小学校統合準備委員会

馬頭西小学校の統合に向けて、次のような項目について協議・検討し、準備を進めていきます。

- 通学対策
児童の通学手段として、スクールバス運行の検討を行います。
 - 引越し引継ぎ
学校の教材や備品等を調整し、統合校へ搬入するもの、廃棄するもの等を分別し引継ぎを行います。
 - 閉校記念事業
馬頭西小学校の閉校にあたり、閉校記念誌の発行や閉校記念式典等の準備を行います。
- お問い合わせ
学校教育課
☎0287(96)2114

故小泉哲也氏に正七位瑞宝双光章



去る12月14日に77歳でお亡くなりになられた元南那須町立江川小学校長小泉哲也氏(小川)は、生前の教育行政の功績により、正七位瑞宝双光章を受章されました。小泉氏は、昭和34年に教職に就かれ、初・中等教育の推進に尽力されました。在りし日のご活躍を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

デマンドタクシー「なかちゃん号」がさらに便利になります

デマンドタクシー「なかちゃん号」は、4月から新たに、指定乗降場所が追加・変更されました。

主な追加・変更場所は、商業施設、金融機関、接骨院・整骨院、公共施設等、合わせて19カ所です。

- 乗車予約及び問い合わせ
デマンドタクシー予約センター
☎0287(92)7447
- 登録申し込み
総務課 ☎0287(92)1111
総合窓口課
☎0287(96)2111

○追加・変更される指定乗降場所
商業施設
・カワチ薬品小川店
・カンセキ小川店
・コメリハード&グリーン小川店
・コメリハード&グリーン馬頭店
金融機関等
・足利銀行馬頭支店
・那須信用組合馬頭支店
・那須南農業協同組合小川支店
・那須南農業協同組合馬頭支店
小川郵便局
・馬頭郵便局
接骨院・整骨院
・佐藤接骨院
・高杉整骨院
・露久保整骨院
・福田整骨院
公共施設等
・小川公民館
・那珂川警察署
・馬頭高等学校
・道の駅ばとう
その他
・田町(荒井薬局前)



デマンドタクシーを利用する際は、事前に登録が必要です。みんな登録してね。

お問い合わせ
総務課
☎0287(92)1111



青少年海外体験学習報告



ホースヘッズのみなさんと



ホストファミリーと



小学校訪問



ミドルスクール訪問



ホームステイ先にて



自然センターにて



自然センターにて

平成28年度町青少年海外体験学習は、3月10日から21日までの12日間、米国ホースヘッズ村などを訪問しました。

今回で24回目の訪問となり、生徒12人(馬頭中4人、小川中5人、矢板東高附属中2人)と大金正道団長、事務局2人の総勢15人の訪問団は、ホースヘッズ村滞在の8日間をホストファミリーと過ごし、アメリカの家庭生活や学校生活を肌で感じてきました。

ホースヘッズ村は寒波の影響で大雪に見舞われ、予定通りに研修が進まない日もありました。その分、ホストファミリーと過ごすことができ、有意義な研修となりました。

海外体験学習での出会いや感動、関係者への感謝の気持ちを、生徒の感想と写真でご紹介いたします。

平成28年度青少年海外体験学習派遣事業日程表

月日	地名	日程
3/10(金)	小川公民館集合 成田発⇒ホースヘッズ村	小川公民館・出発式 ⇒ 成田空港 ⇒ デトロイト空港 ⇒ エルマイラ空港 ⇒ ホストファミリーと対面、ホストファミリー宅へ
3/11(土)		歓迎夕食会
3/12(日)		ホストファミリーと一緒にピザ作り体験、パーク教会・パイオニアスタジアム見学
3/13(月)		ホストファミリーと一緒に登下校・授業参加、スポーツナイト
3/14(火)	ホースヘッズ村	ホストファミリーと過ごす
3/15(水)		ハンズ・アン・ガラスのガラス工芸体験
3/16(木)		タングルウッド自然センター(動物研究)、ボランティア活動
3/17(金)		ホストファミリーと一緒に登下校・授業参加、小学校訪問・文化交流(書道・折り紙指導)、ありがとうパーティ
3/18(土)	ホースヘッズ村⇒ ニューヨーク	ホースヘッズ村 ⇒ ニューヨーク(移動)、セントラルパーク、トランプタワー周辺見学
3/19(日)	ニューヨーク	ニューヨーク市内見学(自由の女神)、ブロードウェイミュージカル鑑賞
3/20(月)	ニューヨーク発(機中泊)	ケネディ空港 ⇒ デトロイト空港 ⇒ 成田空港
3/21(火)	成田着 小川公民館解散	成田空港 ⇒ 小川公民館着、帰国式



佐々木 諒太さん(恩田)
小川中2年

僕は、今回の海外派遣で本当にたくさんの事を学びました。いろいろな場所に行き、様々な人と関わったことで、アメリカの文化や特徴、日本との結びつきなどを知ることができ、アメリカについての興味・関心が高まりました。

この12日間での貴重な体験を、学校でも友達に伝え、広めたいと思います。また、今後の生活にも生かしていきたいです。とても有意義で、充実した研修となりました。



藤田 空斗さん(小口)
馬頭中2年

僕は、最初しっかり言葉が伝わるかと、不安でした。しかし、空港に着いて初めて会うホースヘッズ村のみなさんは、笑顔と

拍手で私たちを出迎えてくれて、少し緊張もほぐれました。

僕はホームステイをして、心に残ったことが二つあります。一つ目は、ホームステイ先の同年代の子たちとバスケットボールをして遊んだことです。二つ目は最後に開催したありがたうパーティで、村のみんなと一緒に踊ったことです。



藤巻 茜さん(小川)
小川中2年

私は、今回の海外派遣を通してたくさんさんの事を学びました。それは相手の言葉が分からないことも、心で通じ合えるという事です。わからないことだらけだったけれど、きちんと伝えることができました。

そして私は、自分で決めた目標である、「英語の話す力、聞く力を高めること、食文化について調べること」は、しっかりと達成できたと思います。

私は、この体験をこれからも生かしていきたい、自分の将来が良くなるものになれると思います。



佐藤 陽南さん(馬頭)
馬頭中2年

私は、最初は緊張や疲れ、言葉の違いでホストファミリーの方と楽しく会話ができなかったり、家でも落ち着いて過ごしたりすることができませんでした。しかし、みんなフレンドリーで一緒に過ごしているうちに緊張がとれ、会話も最初は翻訳アプリに頼ってしまいましたが、後半はジェスチャーなどで、あまり翻訳アプリに頼らなくても、楽しく会話ができるようになりました。家でも自分の家のようになり、リラックスして過ごすことができました。

私は、今回の体験ができた事に感謝して、学んだことをこれからの人生に生かしていきたいです。





ニューヨークシティにて



ありがとうパーティ(アトラクション)



ありがとうパーティ(スピーチ)



雪遊び



異文化交流(折り紙)



異文化交流(習字)



ガラス工芸体験



スポーツナイト



フードバンクボランティア活動



ピザ作り体験



眞保 結実さん(小川)
小川中2年

今回、すばらしい体験をさせてくださった皆さま、本当にありがとうございました。



佐原 なつみさん(小川)
小川中2年

私がこのホースヘッズ村で過ごした8日間は、自分の想像をはるかに超える驚きと発見の日でした。



吉川 奏音さん(馬頭)
馬頭中2年

私は、この体験を通じて「コ

私はこの体験を通して、英語で自分の気持ちを伝える難しさを学びました。ホストファミリーは、簡単な英語やジェスチャーで、私たちが言いたいことを理解してくれました。しかし、時にはなかなか単語が思い浮かばず、言いたいことを伝えられなかったことがあります。また、会話をしたくても、相手が何を言っているのかわからず、通訳アプリを使って会話を進めてしまいました。私は、「積極的にコミュニケーションをとる」ことを目標に参加したので、もう少しアプリに頼らず頑張れたらよかったですと思います。



藤田 愛瑛さん(小口)
馬頭中2年

「コミュニケーション」について、改めて考えることが出来たと思います。英語が上手く話せないのも、ホストファミリーの方と1週間きちんとコミュニケーションをとれるのが不安でした。

しかし、コミュニケーションをとる上で、最も大切な事は、英語が話せるかではなく、自分の意思を相手にしっかりと伝えることだということ。ホストファミリー、ホースヘッズ村の皆さんから学びました。また、この体験で沢山の人の出会うことができて本当に良かったです。



永森 隆誠さん(小川)
小川中2年

僕は、初めてアメリカに行きました。ホストファミリーと過ごした一週間はとても楽しく、ボウリング場やローラースケート場、アイスホッケースタジアムなどに連れて行ってもらいました。ホストファミリーの家での思い出は、地下室があり、そ



豊田 幸太郎さん(谷田)
小川中2年

ここでいろいろ遊んだことです。また、ホームステイ先のパトリックの姉の家に行き、ジャグジーに入ったことも思い出です。その日は雪が降っていて、とても寒かったのですが、初めて入ったジャグジーは、少しせいたく気分になることが出来ました。最後にホースヘッズ村は、とても美しい村だと思いました。

僕は、今回初めての海外で、とても緊張していましたが、何度事前研修を行うことで緊張もほぐれました。また、アメリカと日本の食や生活面での文化の違いに、少しとまどいました。しかし、ホストファミリーの方のおかげでアメリカの生活にも慣れることができ、様々なことを学ぶことができ、とても有意義な海外研修でした。これから同級生や家族に、研修で学んだことを伝えたいです。



佐藤 千咲さん(芳井)
矢板東高附属中2年

に接してくれました。また、遠い異国の地と考えていたアメリカですが、帰国した今はそれほど遠く感じません。環境や文化の違いはあるけれど、日本と大きく変わっている点は少ないという印象を受け、物事を広く考えるきっかけとなりました。



伊藤 愛美さん(浄法寺)
矢板東高附属中2年

今回の研修は、とても貴重な体験となりました。それは、アメリカの文化を直接自分の肌で感じる事が出来たからです。最初は、上手に会話が出来なかつたり、アメリカの生活に体の連続でした。しかし、多くの人の助けにより、楽しみながらも、有意義な時間を過ごすことができました。特に、ホストファミリーと一緒にゲームをしたことが、印象に残っています。会話がなくても、自然と仲良くなれたからです。

成田空港へのバスに乗り込む前、ホースヘッズ村へ行くことが心配で仕方ありませんでした。今思うと、一度も会ったことがない人たちの家で、一週間過ごすことが一番の不安だったのだと思います。しかし、ホストファミリーは本物の家族同然

私は初め、ホストファミリーと簡単な会話はできましたが、習っていない単語や文法はわからず、ホストファミリーの方がインターネットで翻訳してくれました。しかし、たくさんコミュニケーションをとるうちに、ジェスチャーや絵などを使って翻訳せずに会話ができるようになりました。また、だんだんネイティブの英語も聞き取れるようになり、自分の発音もよくなりました。この活動で学んだことを学校での授業や、将来の夢に生かしていきたいです。

平成29年度 那珂川町職員配置一覧

平成29年4月から、生活環境課が新設され、新庁舎1階で業務を開始しました。4月1日付けの人事異動に伴う、職員配置は次のとおりです。
 ※異動(新規採用者含む)があった職員は青字、○は昇任者

総務課 ☎(92)1111

課長 橋本 民夫
 課長補佐 板橋 文子
 課長補佐(庁舎整備担当) 佐藤 裕之

行政係

係長 藤田 寿彦
 主査 猪股 倫子
 主査 露久保 一
 主査 ○星 孝範

管財係

係長 加藤 博行
 主査 小高 博史
 主事 秋元 一彦

●消防交通係

係長 田角 章
 主査 奈良 大輔
 主事 板山 篤史

※広域行政事務組合派遣

課付課長 ○田所 明
 課付主査 ○佐藤 禎晃

企画財政課 ☎(92)1114

課長 佐藤 美彦
 課長補佐 小松 悦子
 係長 久保寺康之
 主査 大森 祐城

●資産税係

係長 佐藤 武
 主査 佐藤 洋平
 主事 川井奈都子
 主事 小川 将照

※矢板県税事務所(併任)

主事 小川 将照

住民課 ☎(92)1112

課長 薄井 桂子
 課長補佐兼保険年金係長 藤浪 京子
 係長 戸籍住民係 金子 洋子
 課付係長 藤田 洋美
 主事 菊池 明子
 主事補 菊池愛咲美
 主査 保険年金係 ○福田 貴行
 主事 星 晴奈
 主事 石田千麻紀
 主事 福嶋 雅俊

●戸籍住民係

係長 金子 洋子
 課付係長 藤田 洋美
 主事 菊池 明子
 主事補 菊池愛咲美

●保険年金係

主査 ○福田 貴行
 主事 星 晴奈
 主事 石田千麻紀
 主事 福嶋 雅俊

生活環境課 ☎(92)1110

課長 ○大武 勝
 課長補佐 薄井 亮
 係長 生活環境係 大橋 裕一
 主事 中野 健太
 係長 環境推進係 屋代 正子

●生活環境係

係長 大橋 裕一
 主事 中野 健太

●環境推進係

係長 屋代 正子

健康福祉課 ☎(92)1119

課長 立花喜久江
 課長補佐 薄井 和夫

課長補佐兼健康管理センター所長兼健康増進係長

主査 小林 宏美
 主事 鈴木 倫央
 主事 小幡 優子

●社会福祉係

係長 加藤美智子
 主査 仲野谷智子
 主査 ○鈴木美裕紀

●高齢福祉係

係長 ○永森 強
 主事 北條 清(再)
 主事補 藤田 智美
 主事 川俣 光世

健康管理センター ☎(92)1188

課付係長 星 裕之
 管理栄養士 小室 綾恵
 保健師 半田 理瑛

●健康増進係

課付係長 星 裕之
 管理栄養士 小室 綾恵
 保健師 半田 理瑛

地域包括支援センター ☎(96)2161

主幹兼小川総合福祉センター所長兼地域包括支援センター所長 ○秋元千代子
 課長補佐 高瀬 敏之
 主任看護師 小山田智子
 社会福祉士 立川 正史
 保健師 柴田 理美

子育て支援課 ☎(92)1115

課長 稲澤 正広
 課長補佐 網野 幸恵
 係長 子育て支援係 谷田 克彦

わかあゆ認定こども園 ☎(96)5221

主幹兼園長 大森美弥子
 教頭 大森 尚美
 主幹保育教諭 川上 清美
 保育教諭 高野 路康
 保育教諭 佐藤 希美
 保育教諭 永井 千穂
 保育教諭 伊藤佐由加
 保育教諭 佐藤 有加
 保育教諭 田代 寿樹
 保育教諭 白石 牧子
 保育教諭 岡 珠美
 保育教諭 菊池 美穂
 保育教諭 小口 歩
 保育教諭 黒川 聖華
 保育教諭 北條由布子

●専門員

主事 菊池 政広(再)
 係長 川上 雅彰

●地籍調査係

係長 熊田 則昭
 主事 関谷 龍太

●主事補

主事 小森 亮利 ※
 主事 榑木県烏山土木事務所派遣 深澤 啓太
 課付技師 深澤 啓太

●農林振興課 ☎(92)1113

課長 坂尾 一美
 課付課長(農業委員会事務局長併任) 大森 新一
 課長補佐兼農地調整係長 深澤 昌美

●農政係

係長 鈴木 浩史
 専門員 鈴木 雄一(再)
 主事 岡 健太
 主事 水井 巧

●農林整備係

係長 磯野 大
 主事 露久保 論
 主事 藤澤 祐紀
 主事 高橋 智也

●農地整備係(農業委員会事務局局併任)

主査 小高 恵
 主事 阿久津康史

●商工観光課 ☎(92)1116

課長 板橋 了寿
 課長補佐 小室 利雄
 係長 商工係 渋谷 直樹
 主事 石澤 聡

●母子保健係

係長 ○磯野 律子
 保健師 高橋 麻紀
 保健師 手束 奈津
 臨床心理士 原口 正人

●なかのこ認定こども園 ☎(92)2202

園長 大金 浩子
 教頭 ○高橋 和子
 保育教諭 伊藤由紀子
 保育教諭 天沼 久恵
 保育教諭 高瀬 弘
 保育教諭 星 将司
 保育教諭 岡安 柚佳
 保育教諭 益子 恵
 保育教諭 森山 佳澄
 主任調理員 岡 文子
 主任調理員 ○川那子和枝

●ひばり認定こども園 ☎(92)2301

園長 鈴木 政江
 教頭兼子育て支援センターひばり保育教諭 永森あつ子
 主幹保育教諭 佐藤 尚巳
 保育教諭 加藤 剛史
 保育教諭 長谷川文香
 保育教諭 小泉 怜
 保育教諭 薄井裕香子
 保育教諭 藤澤佳代子
 保育教諭 川井 愛純
 保育教諭 高野 優希

●馬頭広重美術館 ☎(92)1199

館長(専門員) 田村 正水(再)
 課長補佐兼事務長 ○笠井智恵子

●議会事務局 ☎(96)2112

局長 高林 伸栄
 局長補佐兼議事係長 岩村 房行

●庶務係

係長 長家佳奈子

●上下水道課 ☎(92)2002

課長 田代 喜好
 課長補佐 岡 多恵子

●業務係

係長 仲野谷智弘
 主査 藤田 智大
 主事 高松 里枝

●水道係

係長 橋本 秀一
 技師 佐藤将太郎
 主事 佐藤 勇生
 主任技術員 菊池 一彦

●下水道係

係長 川上 浩
 主事 川俣 貴弘

●図書館 ☎(92)5015

馬頭図書館 ☎(92)5015
 小川図書館 ☎(96)2335
 主幹兼館長 星 文子
 課付係長 石井 美帆
 主事 野上 康二

●なす風土記の丘資料館 ☎(96)3366

課長補佐兼文化振興係長 屋代 真一
 主査 近藤 美幸
 学芸員 金子 智美

●学校教育係

課長 薄井 健一
 課長補佐 笠井 真一
 課長補佐兼学校教育係長 ○加藤 啓子
 係長 学校管理係 豊田 博之
 主事 宮崎 智子

●学校教育係

課付係長 ブラックバン ケビン
 指導主事 高橋 徹
 主事 興野 瞳

●学校給食センター ☎(92)2049

主幹兼所長 ○小高 誠一
 主査 竹川久美子

●生涯学習課 ☎(96)2116

課長 ○益子 雅浩
 課長補佐(社会教育主事・指導主事) 山口 武彦

●生涯学習係

係長 大金 典彦
 課付係長 友田 哲也
 主事 小高 三恵

●スポーツ振興係

係長 川上 昌之
 主事 田口 寛崇
 主事 山崎 真衣

●なす風土記の丘資料館 ☎(96)3366

課長補佐兼文化振興係長 屋代 真一
 主査 近藤 美幸
 学芸員 金子 智美

●学校教育課 ☎(96)2114

課長 薄井 健一
 課長補佐 笠井 真一
 課長補佐兼学校教育係長 ○加藤 啓子
 係長 学校管理係 豊田 博之
 主事 宮崎 智子

◆退職者(3月31日付け)
 会計管理者兼会計課長

田村 正水
 住民生活課長 鈴木 眞也
 環境総合推進室長 鈴木 雄一
 子育て支援課長

小川 一好
 学校教育課主幹兼学校給食センター所長 菊池 政広
 生涯学習課主幹兼馬頭広重美術館事務長 北條 清
 子育て支援課主幹兼ひばり幼稚園長 小林 順子
 税務課長補佐 篠江智恵子
 生涯学習課長補佐(図書館) 高林 和枝
 ひばり幼稚園教頭 大武 淳子
 馬頭中央保育園主任保育士 薄井 隆子
 税務課主査 高野 愛子
 生涯学習課主事

池田まり子
 小川幼稚園教諭 川上 莉代
 大内保育園主任調理員 大金 恵子

新規採用職員です。よろしくお願ひいたします。



前列右から、
 岡山このみ(企画財政課)
 岡 悠吏(税務課)
 北條由布子
 (わかあゆ認定こども園)
 菊池愛咲美(住民課)
 後列右から、
 齋藤 梨菜(会計課)
 川俣 光世(健康福祉課)
 半田 理瑛(健康福祉課)
 原口 正人(子育て支援課)
 小森 亮利(建設課)

地域おこし協力隊

☎(92)2825

隊員 小島 徳明
 隊員 小鮎 千文
 隊員 佐藤 悠矢
 隊員 戸松 淑朗
 隊員 佐藤 豊彦
 隊員 駒馬 悠子
 隊員 星 里奈



星 里奈 駒場 悠子
 私たちが、新しい隊員です。
 よろしくお願ひいたします。

平成29年工業統計調査を
 実施します

○工業統計調査は、従業者4人以上の全ての製造事業所を対象に、6月1日時点で実施します。

○工業統計調査は、我が国における工業の実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。

○調査の結果は、中小企業施策や地域振興など、国及び地域行政施策のための基礎資料として活用されます。

○調査票にご記入いただいた内容は、統計作成の目的以外(税の資料など)に使用することとは絶対にありません。

○調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご回答をよろしくお願ひいたします。

問い合わせ

県統計課

☎028(623)2250

企画財政課

☎0287(92)1114



工業統計キャラクター
 コウちゃん

寄贈(3月20日受付分まで)
 ありがとうございます

○図書館へ
 図書「大志」 匿名(大山上郷) 匿名(なす香10年の歩み)
 なす風土記の丘資料館
 ボランティア「なす香」

○教育文化基金へ
 2万円 寺西 利夫様
 (京都府京都市)

○地域振興基金へ
 2万円 上杉 章紀様
 (埼玉県さいたま市)

2万円 多々納恵一様
 (東京都杉並区)

2万円 田中とも子様
 (東京都羽村市)

5万円 岡 直樹様
 (新潟県小千谷市)

○福祉基金へ
 1万円 小林 誠一様
 (宮城県仙台市)

5万円 穴山 清作様
 (東京都国分寺市)

○社会福祉協議会振興基金へ
 2万円 益子 和弘様
 (健武110回)

1万8298円
 馬頭むらおこしセンター

○社会福祉協議会善意銀行へ
 1万円 匿名(509回)

5万2千円 匿名

卒業

町内の2中学校で3月9日に、4小学校で17日に卒業式が行われました。卒業生は、恩師や在校生、保護者などに見送られ、たくさんの思い出と新たなスタートへの希望を胸に学び舎を巣立ちました。

卒業者は次の通りです。

- 馬頭中学校 92人
- 小川中学校 57人
- 馬頭小学校 44人
- 馬頭西小学校 6人
- 馬頭東小学校 13人
- 小川小学校 42人



馬頭中学校



小川中学校



馬頭小学校



馬頭西小学校



馬頭東小学校



小川小学校

町内の保育園4園・幼稚園2園が開園しました

認定こども園の開園にあたり、馬頭中央保育園が61年、大内保育園が43年、馬頭南保育園が36年、わかあゆ保育園が7年、ひばり幼稚園が39年、小川幼稚園が42年の歴史に幕を閉じ、3月24日に開園式が行われました。

開園式では、各園の経過報告や、記念品贈呈、園歌斉唱などが行われました。また、式典終了後には、園児や保護者、職員が、「ありがとう」の感謝を込めて、園庭で二斉に風船を飛ばしました。長い歴史の中で、在園児だけでなく、多くの卒園児たちとの、思い出がたくさん詰まった園舎に別れを告げました。

また、4月から、馬頭中央保育園は、なかのこ認定こども園として、ひばり幼稚園は、ひばり認定こども園として、わかあゆ保育園はわかあゆ認定こども園として開園しました。



大内保育園



ひばり幼稚園



馬頭南保育園



小川幼稚園



馬頭中央保育園



わかあゆ保育園



馬頭ウイングススポーツ少年団 全国大会出場

高山 結衣さん 露久保 杏奈さん 高山 義彦団長
大金 千夏さん 深澤 悠太監督

馬頭ウイングススポーツ少年団は、昨年10月の第30回栃木県小学生女子ソフトボール新人大会で準優勝し、3月26日から28日に神奈川県で開催された、第10回春季全日本小学生女子ソフトボール大会に出場しました。

全国大会出場に向けて、3月16日に町長室で激励会が行われました。激励会では、主将の露久保杏奈さん(馬頭)が、「お世話になったたくさんの人へ、良い報告ができるように頑張ります」と話しました。全国大会は、雨により一日順延となりましたが、選手一人ひとりが力の限りプレーし、チーム一丸となって戦いました。



防火座談会で 火災予防を啓発

那珂川町女性防火クラブは、全国春季火災予防運動期間(3月1日から7日まで)に併せて、小川地区の女性防火クラブを対象に防火座談会を開催しました。

この防火座談会は、地域での火災予防の普及を目的に、各地区を巡回し開催しているもので、那珂川消防署職員を講師に招き、今年は、火災予防について及び119番通報などをテーマに意見交換が実施されました。

座談会には地域の住民や消防団員も参加し、家庭における火災の注意点、逃げ遅れを防ぐための住宅用火災警報器の設置や119番通報のしくみを確認し、地域で火災を出さない意識を共有しました。

平成28年度 那珂川町地域おこし協力隊活動報告会開催

地域おこし協力隊員6人の活動報告会が、3月28日小川総合福祉センターすこやか共生館で行われ、地域住民や関係者約70人が、隊員の活動内容や今後の構想に耳を傾けました。

稲垣侑子隊員は、「芸術文化振興、アートで町おこし」をテーマに、小砂地区のPRを中心として活動しました。休耕畑を利用し、制作した畑アートやKEAT2016小砂環境芸術祭内のイベント企画、旧馬頭北保育園で開催されたピアノコンサートの運営などを報告し、3年間の任期を終えました。

小島徳明隊員は、「空き店舗で、知る・集う・発信」をテーマに、商店街や空き店舗を利用し活動しています。元気フエスタ2016では、旧明治屋を利用して行われた「街中おぼけ屋敷時計ノイエ」の企画、運営や馬頭のひなめぐり実行委員などの活動を報告しました。

小針千文隊員は、「食で元気を応援! 台所からはじめる地域おこし」をテーマに活動しています。今年度から、「薬膳料理教室」の実施や、子育て世代という自身の立場を生かし、子育て支援事業と連携して、産前産後のお母さんに養生ランチの提供や離乳食づくりなどの活動を報告しました。

佐藤悠矢隊員は、「アート・デザインを通して情報発信」をテーマに、各イベントのポスター制作や風景画の制作をしています。今年度は、まちなか「心はふるさと」のプロモーションビデオや28年度版のブランド冊子の制作、もうひとつの美術館での設営協力などの活動を報告しました。

戸松淑朗隊員は、「まちづくり会社」と地域への貢献をテーマに、活動しています。まちづくり会社(創生ながわ株式会社)の立ち上げに携わり、首都圏のイベントに参加して、地域のファンになってもうたうため、特産品や観光など町のPR活動などを報告しました。

佐藤豊彦隊員は、「ししまる・高手の里、販の展開と情報発信」をテーマに、活動しています。八溝ししまるの販売促進の一つとして、タレやチャージャーシユの開発、高手の里では、定住を促進するために田舎暮らしの関連イベントやネット調査を行い、展開構想を検討した活動などを報告しました。

参加した方との意見交換では、住民と協力隊がイベントの時以外でも繋がることのできるような体制にしてほしいなどの意見がありました。

